
華子とガンマン

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

華子とガンマン

【Nコード】

N53770

【作者名】

ごはんライス

【あらすじ】

西部劇。ショートコント小説です。

酒場。マスターは、不良ガンマンたちからまれてる。

「親父イ。お前の娘、貸せよ」

「ぐへへへ。やらせるよ」

「そのう。あのう」

マスターの娘はチヨイ美人である。名を華子という。
今お使いに行ってるのがこれ幸いだ。

あ。帰ってきた。おバカ！

「ぐへへへ。華ちゃん。オレたちといいことしようぜ」

「いやっ離して！」

「ぐへへへ。強気なところもたまらねえ」

「やめなにか！！」

なんかのBGMに乗って颯爽と現れるガンマン。

「誰だお前」

「さすらい一郎だ！」

「さすらい一郎？？」

ガンマンは、拳銃でいきなり不良ガンマンの一人を撃った。

「うぎゃあああああああ」

死んだ。

「てめえ。何てことすんだよ」

「うるさい！悪は滅びるのだ！！」

ガンマンは別の不良ガンマンも撃ち殺した。「うぎゃあああああ
あ」

残り一人の不良ガンマンががたがた震えている。「こ、こいつマ
ジだ。これがギャグ小説だってこと忘れてやがる」

逃げようとしたところを撃った。「うぎゃあああああああ」

ガンマンは華子のところに寄った。

「お嬢さん、大丈夫でしたか」

華子はかんかんだ。

「あなた！これが児童書だつてこと忘れてるわ！こんな残酷なだめよ！」

ガンマンは助けたのに注意されたのでかちんときた。

当然、華子を撃った。「うぎゃあああああああ」

「あ。あ。わしの華子に。こんちきしょう」

マスターがガンマンを殴ろうとした。

もちろん撃った。「ぎゃあああああああああ」

ガンマンはあたりをきよろきよろ見渡し、しばし考える。

「オレ一人じゃ話進められねえな。仕方ない」

ガンマンは酒場を出た。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5377o/>

華子とガンマン

2010年10月27日07時01分発行